

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第8号 平成28年度垂水市地区公民館主事の任命について	地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第12号 平成28年度垂水市奨学資金奨学生の決定及び奨学生に対する奨学資金の貸与期間延長について	奨学生選考委員会の答申を受けて奨学生の決定及び奨学生に対する奨学資金の貸与期間延長を決定しようとするものである。	特記事項なし	承認

平成28年度第2回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年5月11日（水）</p> <p>午後2時00分</p> <p>↓</p> <p>午後3時15分</p> <p>大会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼 治</p> <p>教育委員 田原 正 人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛 迫 幸 平</p> <p>教 育 長 長濱 重 光</p>	<p>教育総務課長 池 松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉 誉</p> <p>社会教育課長 野 嶋 正 人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第2回教育委員会定例会を開会した。
議案第12号は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成28年度第1回教育委員会定例会会議録の承認 承認

3 議 事

報告第 8 号 平成 28 年度垂水市地区公民館主事の任命について
議案第 12 号 平成 28 年度垂水市奨学資金奨学生の決定及び奨学生に対する奨学資金の貸与期間延長について

4 その他

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

3 議 事	<p>報告第 8 号 平成 28 年度垂水市地区公民館主事の任命について</p>
社会教育課長	地区公民館主事の任命について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告。
委員長	新しいお二人はどういう方々か。
田原委員	昨日、会でお会いしたが、りっぱな方々。
	<p>議案第 28 号 平成28年度垂水市奨学資金奨学生の決定及び奨学生に対する奨学資金の貸与期間延長について（学校教育課） （非公開）</p>
4 その他	なし
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員報告
委員長	教育委員の報告に入る
委員長	<p>1. 「平成28年度鹿児島県教育行政説明会について」 4月18日月曜日、県教育行政説明会に出席した。県の教育委員会と私達市町村の教育委員会との連絡連携を図るための伝達説明会で大変重要である。膨大な県全体の教育行政の一翼を我々も担っていると考えさせられる一日でもあった。</p> <p>2. 「平成28年度鹿児島県市町村教育委員会連絡協議会幹事会について」 4月22日、県市町村教育委員会連絡協議会幹事会に出席した。県下4ブロックの各代表が出席された。新制度移行に伴い、今まで協議会運営を中心にやっていた鹿児島市の教育長、教育委員長が退任された。臨時に議長が選出され、議事進行が行われた。新制度での不確定要素として、県の協議会会則では、会長の選出を受けた出水市教委が事務局を引き受ける訳だが、今回は暫定的に、鹿児島市が引き受けてくれることになった。新制度に完全に移行するのは平成31年1月1日だとのことから、その間がどうなるのか不安である。各教委に良案、良策を求められたが、それもどう進むのかもよくわからない。新制度移行に伴う事案、事象として報告した。</p>

田原委員

1. 「平成28年度鹿児島県教育行政説明会について」

4月18日、県教育行政説明会に出席したが、人事異動の布陣、国や県の動きがよく分かった。取り組みがなされたもの、重点化されたものがいくつかあった。特別支援教育室の設置、国体やオリンピックのための係員の増員、いじめや人権教育の強化、貧困児童、生徒への奨学金制度の充実強化が図られたと思った。熊本地震の直後だったが、今後、防災についてはどう対応すべきかと考えさせられた。今回、大きな地震が2回あって、壊滅的な被害を受けた。耐震化についての考え方が今までとは違っていくのではないか。また、今後の対策について考えさせられた。

2. 「『夢の実現！学びの教室』について」

4月30日、「夢の実現！学びの教室」のオリエンテーションが実施され、私も参加した。中学1年生の元気なやる気のある生徒26名が参加していた。教科ごとに8人の講師が指導に当たることになった。早速、5月7日に1回目があった。子供達が受けたい教科を選んで、1時間ずつ2コマである。1時間目が数学なら、2時間目は理科と選んで移れるのは、子供達にはいいことである。ただ、教える方としては、人数の差や、生徒の段階もあり、どのような方法で指導すればよいか、考えなければと思うことであった。今後やっていきながら、生徒の実態もわかってくるので、しっかり効果のある、身につく方法を考えていきたい。子供達は、やる気があって張り切っている。

中谷委員

1. 「先生達の心のケアの研修の実施について」

4月12日から14日に京都の東本願寺で、お寺の奥様方の研修があり、全国から100名が集まった。お寺が元気なのは、奥様が元気であると教わった。学校も同じで、校長先生が元気でないと学校も元気にならない。先生達の研修に人権教育でも芸術の面でもよいと思うが、心のケアの研修が必要ではないか。垂水市では心のケアなど本当に大丈夫かということを検討していただきたい。

2. 「熊本地震について」

熊本地震があった。熊本で震度7の地震があるとは地震学者も想定外だったようである。私達もこれから想定外に何度遭遇するのか、どう対応すべきか心配している。

3. 「平成28年度鹿児島県教育行政説明会について」

県の説明会に参加した。社会教育課の先生が、「家庭を絶対に悪者にしてはいけない。」と話され、私は民生委員の主任児童委員で、子供達との関わりの中で、人としての姿勢を問われて、ハっとした。家庭を悪者になっている自分に気がついた。これからの子供達との関わりにもっとよい方法ができるよう頑張ろうと思った。

4. 「学校応援団について」

今朝、柊原小学校の正門であいさつの立哨を行った。どの子も元気で、大人である私達が元気をもらった。昨日のニュースで、中学生が自殺した

との報道がなされたが、子供の苦しい、悲しいとかを、なぜ近くの大人に相談できないか残念でならない。垂水市には学校応援団があり、その力も子供達の支えになっていると信じたい。

5. 「絵本と子供、親の話について」

地域の方で、3歳の孫が遠くにいて、その母親が、子供をうまく育てられないと何年か前から悩んでいた。私は何を送ろうか考えて、遠くに住んでいる方に、1冊の絵本を送って、絵本の読み聞かせの大事さを語った。その子供は今年2年生になっている。その母親は当時子育てのパニックになっていたが、今では絵本を使ってボランティアで小学校に読み聞かせを行っていると聞いた。「あの時はありがとうね。」と言われ、私がひとつ種をまいたと嬉しくなった。垂水で赤ちゃんに絵本を渡すブックスタート事業であるが、ずっと続けていってほしい。

葛迫委員

1. 「平成28年度鹿児島県教育行政説明会について」

県教育行政説明会に参加した。多くの新規事業の中で、生徒指導実践力向上プログラム、いじめ問題対応チーム派遣事業、「チーム学校」による不登校対策事業など企画されており、これらの助成により、いじめ問題や不登校の未然防止、早期発見、早期対応がなされるなど、垂水の学校もこれにつながっていったらいいと思う。

また、かごしま文化維新プロジェクト推進事業で本が配られていたが、平成32年が明治維新150年、こういうことが企画されている。昨年鹿児島では国民文化祭が開催され、大きな成果が出ている。そういう成果を活かすということで、本県の芸術、文化を通じて、何かそれに通じるような事業をする団体に助成をするということが話されていた。本市においても、絵画と歴史と食、この3つを国民文化祭でやったが、何か残してほしいと考えて、子供達の中で、グリーン応援部門という絵画展があったが、これが和田コンではなくなっている。今後はこれをどうしても続けたいと思っている。和田コンは垂水市内の園児しか展示できないが、国民文化祭では県内一円を対象とした図画作品を募集したが、今後は、そういうことができないか、リーディングプロジェクト創造事業そういうのでできないのか考えていきたい。また、このような取り組みは、地域活性化、これから垂水市、県の次代を担っていく子供達の文化、芸術面の認識を高められ、ひいては情操教育につながっていくと考える。

また、大隅歴史街道においても、明治維新150周年かごしま文化向上提案事業にうまく乗っていけばいいと考えた。

2. 「和田英作展について」

テレビで見たが、和田英作展が都城で秋口に開催される。調べてみたが、都城の美術館のホームページに掲載されていない。また、ちゃんと調べてみる。ただ、どうして鹿児島市でないのか、もう一回確認してみたい。

3. 「井ロスズ子米寿記念絵画展について」

井ロスズ子米寿記念絵画展の企画書案を作ってみたが、和田英作、和田香苗記念絵画コンクールにおいて、井ロスズ子さん御夫妻の御主人からい

つも協賛金をいただいております、井口スズ子さんが個展を開催したいということで、実行委員会を立ち上げて、教育委員会の共催で実施していきたい。会期は12月4日から11日で、会場は市の文化会館のロビーでやろうと考えている。実施理由は、井口スズ子さんは、本市在住の女流作家であり、南日本女流美術展の委嘱作家として活躍されている。井口さんの作品は、身近な植物、野菜とか身近にある地球の恵みを大切に描いているが、熊本が地震災害にあったが、災害とは関係はないかもしれないが、この時期に井口スズ子さんの絵画展が開催されるということは、井口さんの作品を子供達や市民が見て、その自然の恵みの大切さが再確認できたらいいと今回こういう企画をした。詳細はこの企画書に書いてあるので、是非見に来ていただきたい。

教育長

以前、協賛金のお礼にお宅にお伺いしたが、立派な作品がいっぱいあった。こういうものを見ていただくことで、絵画に親しみを持っている方々、また、子供達のいい教材になると期待している。

教育長

1. 「熊本地震による児童、生徒の受け入れについて」

熊本大震災で、本市にも松ヶ崎小学校に5年生の男の子を、中央中に1年生の姉を受け入れている。当初、5月6日までだったが今月いっぱいいたいとのことである。学校給食費とか免除にできないか、課長の方で手を尽くしてもらっている。松ヶ崎小は、5年生が1人だったので、ものすごく喜んでいて。熊本の小中学校は、学校に通えない状況であったが、徐々に通学できるようになってきた。子供達の学校に通える笑顔、友達に会った時の笑顔、ほっとしている。やはり学校は、子供達が行きたい学校、保護者が行かせたい学校、先生達が働きたい学校、これにつぎののかなとつくづく改めて考えた。

2. 「「夢の実現！学びの教室」について」

「夢の実現！学びの教室」がスタートし、26名参加してくれたが、これは、新1年生の4分の1が参加してくれたことになる。この生徒達が1年間継続して参加してくれれば、学力面やその他の面で成長してくれるのではないかと期待している。

3. 「新城校区おたけどんの郷10周年記念式典について」

5月1日新城校区のおたけどんの郷10周年記念式典に出席した。新城中の人達が参加されたのではないかとというくらいの多くの参加があった。新城がまとまり、元気があるのは、このようなことを通して、実っていくんだとつくづく感じた。

委員長

熊本の方から来ていないか聞こうと思っていた。2人だけですか。

教育長

お母さんが松ヶ崎の出身の方で実家に避難してこられた。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

4月9日から5月10日までの主な行事等について報告。
併せて、6月17日までの予定についてお知らせした。

6 閉 会